

2023年9月15日

学生支援課生活支援係御中

学生生活審議会御中

日就寮委員会

「東北大学の学生寄宿舍に入寮希望される方へ」における日就寮の記述に関する公開質問状

下記の事項について公開質問状を提出しますので、10月31日までに文書で回答いただくようよろしくお願い申し上げます。

記

学生支援課生活支援係によって6月1日付で発行された文書『東北大学の学生寄宿舍に入寮希望される方へ』において、日就寮についての特記事項として「かつて、中核派系全学連が拠点のひとつに位置付けていました。」、日就寮を含むすべての学寮についての特記事項として「大学で修理修繕を実施しておりますが、施設設備の老朽化がかなり著しい状況です。」という記述があります。

日就寮はこの記述が不適切であり、福利厚生施設を必要とする学生が入寮をためらうことによって不利益を被るものであるとして、大学当局に対し長年にわたって訂正を求めてきました。しかし、私たちの抗議にも関わらず、これらの記述は昨年のもことから一切変更されていません。

「中核派系全学連が拠点のひとつに位置付けていた」という記述は、現在の寮の実態の説明と関係ないものです。そして、入寮を検討する学生や保護者の不安をいわずらに煽るだけであり、学生の利益を真に考えたものとは言えません。また、この記述に関して「拠点」とはどのような状態を指すのかと何度も問い合わせしてきましたが、明確な回答が得られたことはありませんでした。

過去に左翼党派の学生が居住していたのはすべての学寮に当てはまることであり、日就寮についてだけ記載するという姿勢も日就寮に対する印象操作ととらえざるをえません。

2022年度11月22日付で送付した公開質問状に対する回答によって、日就寮をはじめとした東北大の学寮は耐震基準を満たしていることが明らかになりました。その際、日就寮は老朽化記述によって入寮希望者から耐震性に関する懸念の声が寄せられていることを説明し、福利厚生施設を必要とする者の不利益とならないよう記述の補足を求めてきました。

私たちが長い時間と労力をかけて訴えてきたことが反映されないというのは残念でしかありません。私たちは大学当局に対し、どのような議論を経て、日就寮および他学寮に関する特記事項の変更を行わないという審議結果に至ったのか説明を求めます。